

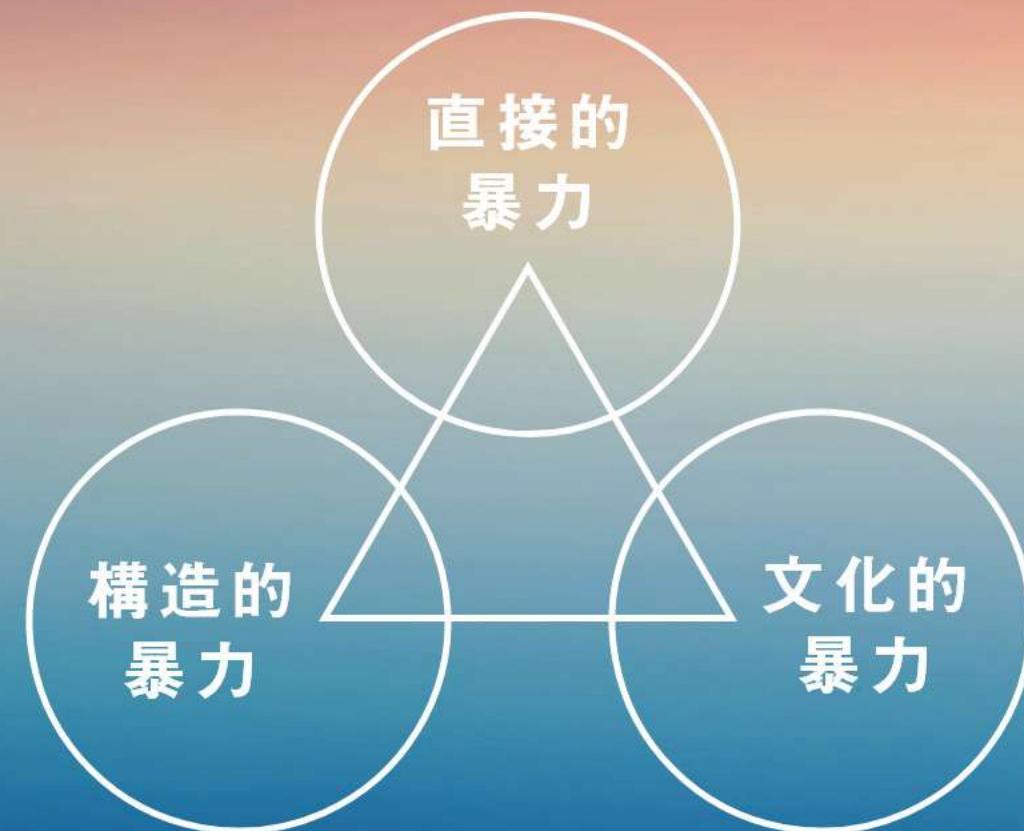
Q.

今 の 地 球 は 平 和 で す か ?

平和

【平和】

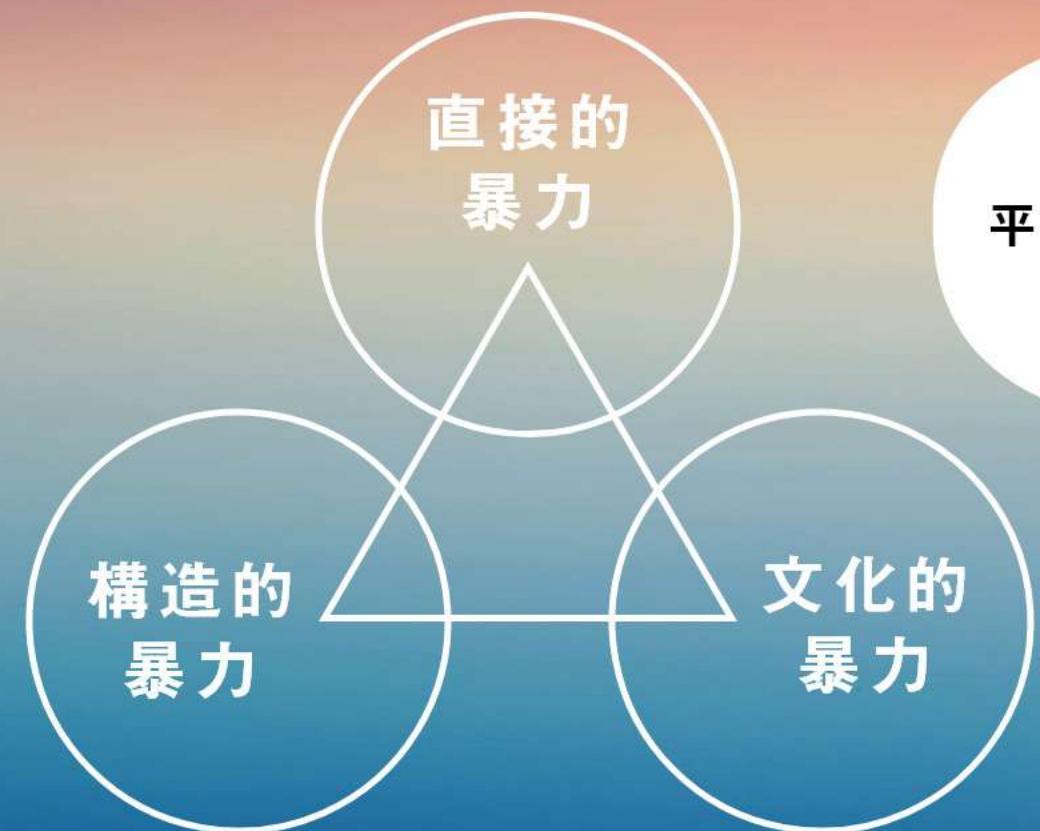
あらゆる暴力・紛争 (conflict) のない状態



平和

【平和】

あらゆる暴力・紛争 (conflict) のない状態



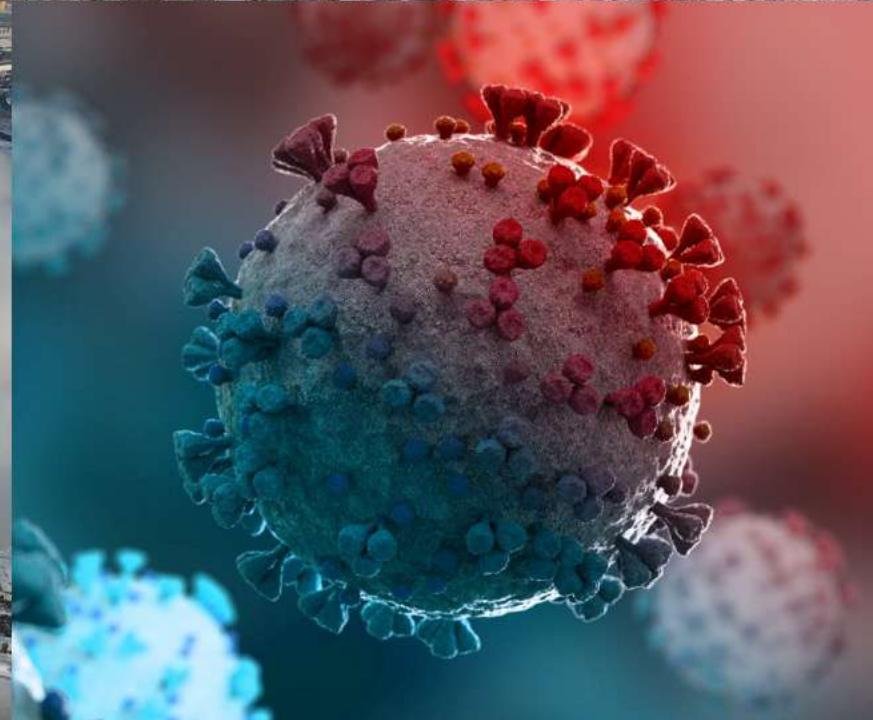
これまでの
平和研究は人間同士の関係を
その対象としてきた

問題意識

- 異常気象
- 地球温暖化
- オゾン層の破壊
- 熱帯林の減少
- 開発途上国の公害
- 酸性雨
- 砂漠化
- 生物多様性の減少
- 海洋汚染
- 有害廃棄物の越境移動
- COVID-19



地球を何とかしないと
人間が生きていけない!





「地球・人間」の暴力関係

→アントロポセン

どうすればこの関係を修復できるか？



地球が
安心できる
地球を
つくろう。



人間は地球規模課題に立ち向かうため
“科学技術開発”を進めている

でも……

本当に技術的な問題だけなのか？

化石燃料の使用をやめて
再生可能エネルギーだけで
生活することを選ぶか？

効率を求めて地球上の
作物を遺伝子組換えに
置き換えることを選ぶか？

社会は「解決策」となりうるこれらの技術を選ぶか？

この状況で、今後開発される新しい科学技術は、社会に受け入れられる「解決策」となるのか？

科学技術
と



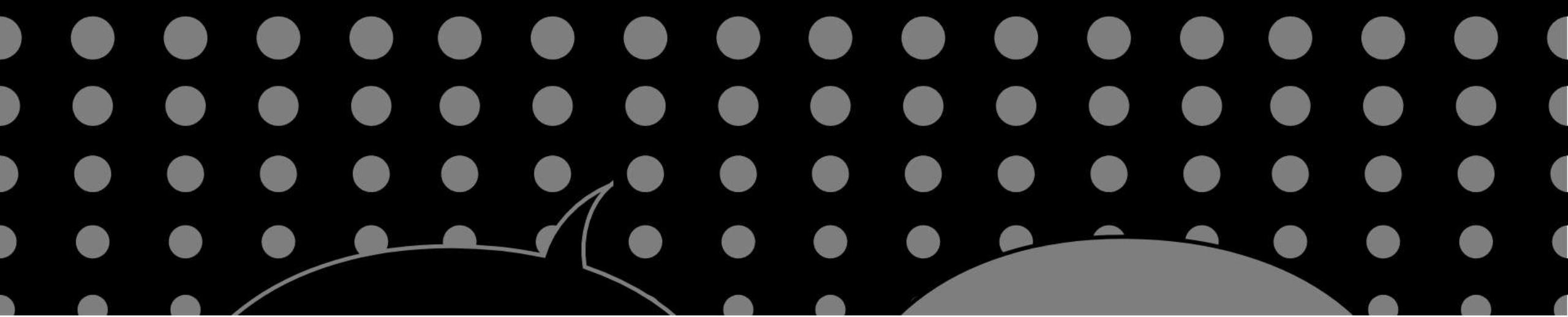
社会の
分断



こういう
使い方なら
いいんじゃない？



理論的には
こうあるべき
とかいうのは
暴力的でしたね



【取り組むべきムーンショット課題】

-科学技術と社会を接続する-

TEAM
ポスト・アントロポセン



2050年までに地球の SMART EARTH化を実現

LEADER
筑波大学 人文社会系 秋山肇

SUB-LEADER
筑波大学 生命環境系 浦山俊一

2050年の目標

科学技術と社会のConflictを解決することで、
人間と地球の関係を再構築し、持続的な関係にする



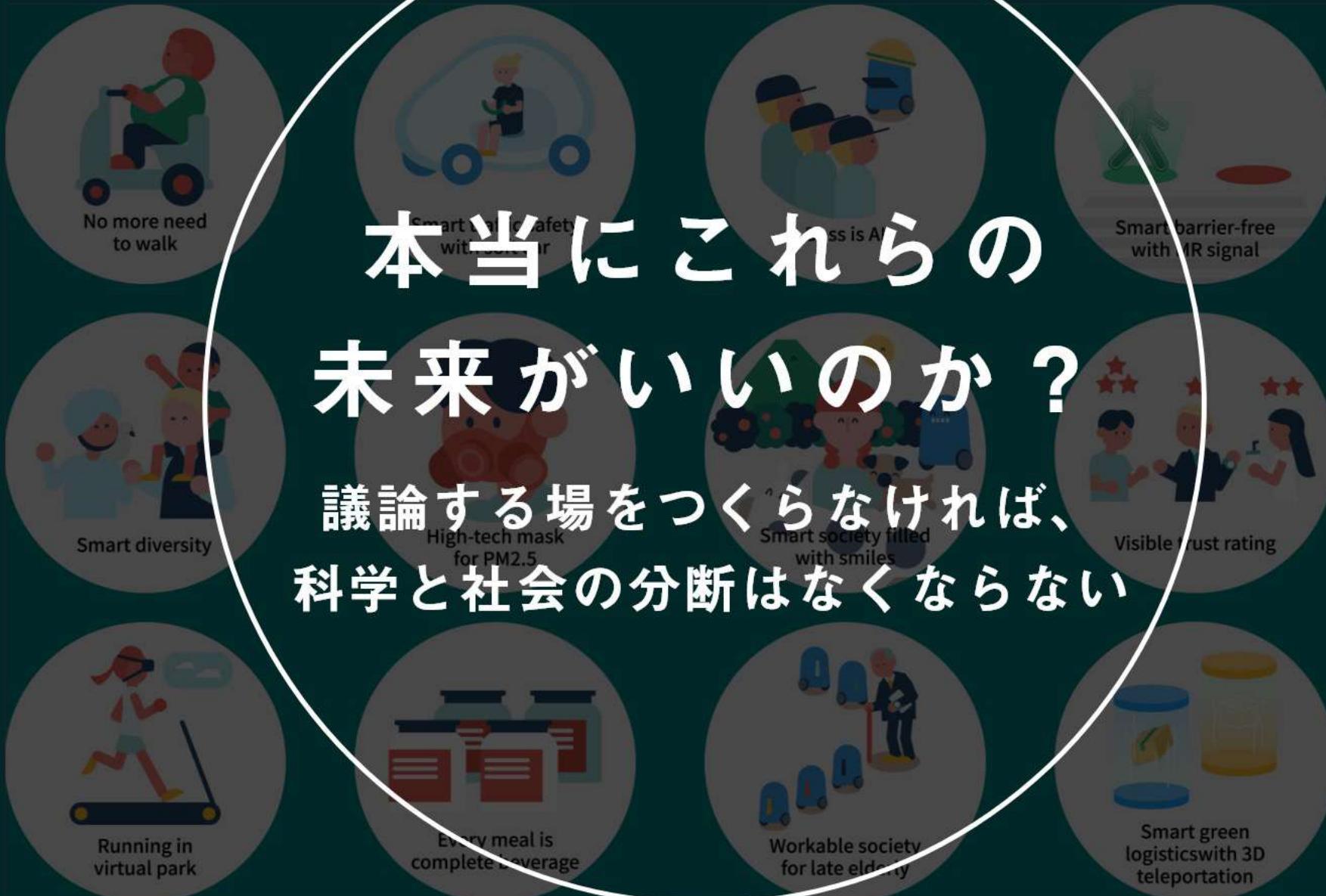
2050年のイメージ



2050年のイメージ

本当にこれらの 未来がいいのか？

議論する場をつくるなければ、
科学と社会の分断はなくならない





大事なのは
「試す場」を
つくってみると

科学技術と社会のConflictを解決するためには

技術と社会を試し
実証することが必要不可欠



「持続的な世界にするために、
あなたの街の生態系や
社会構造を変換してみていいですか？」

いやいや、そんな大きな実験、
従来の生活環境じゃできないでしょ！



取捨選択

2030年の目標（バックキャスト）

持続可能な
エネルギー利用

汎用人工知能による
将来世代への
利他性開拓

VRを用いた
仮想実験

微生物などによる
人工物の生産

新たな科学技術や人間社会のあり方を試す
Mini SMART EARTH(MSE)を実現



科学技術は導入できるけど
社会は試せない

科学技術の実験場

人間社会のあり方も一緒に試す それが、Mini SMART EARTH構想

科学技術の実験場

人間社会の実験場





Mini SMART EARTH構想とは
ポスト・アントロポセンの
科学・社会を議論・体験できる場の構想

2030年、Mini SEを作つてみました。

秋山さん100人で
つくるMini SE
科学技術を使って
平和な社会づくりを考える!



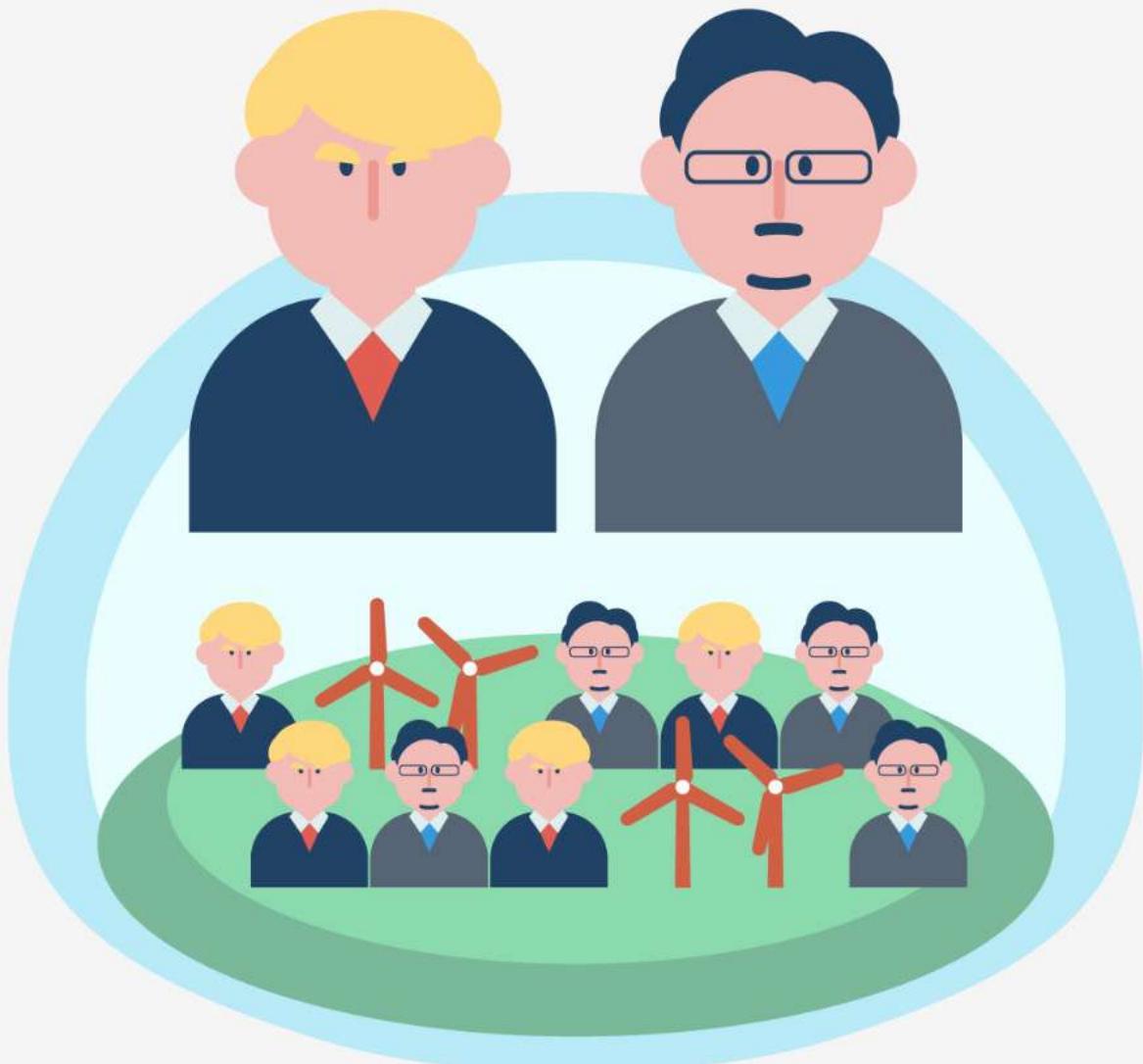
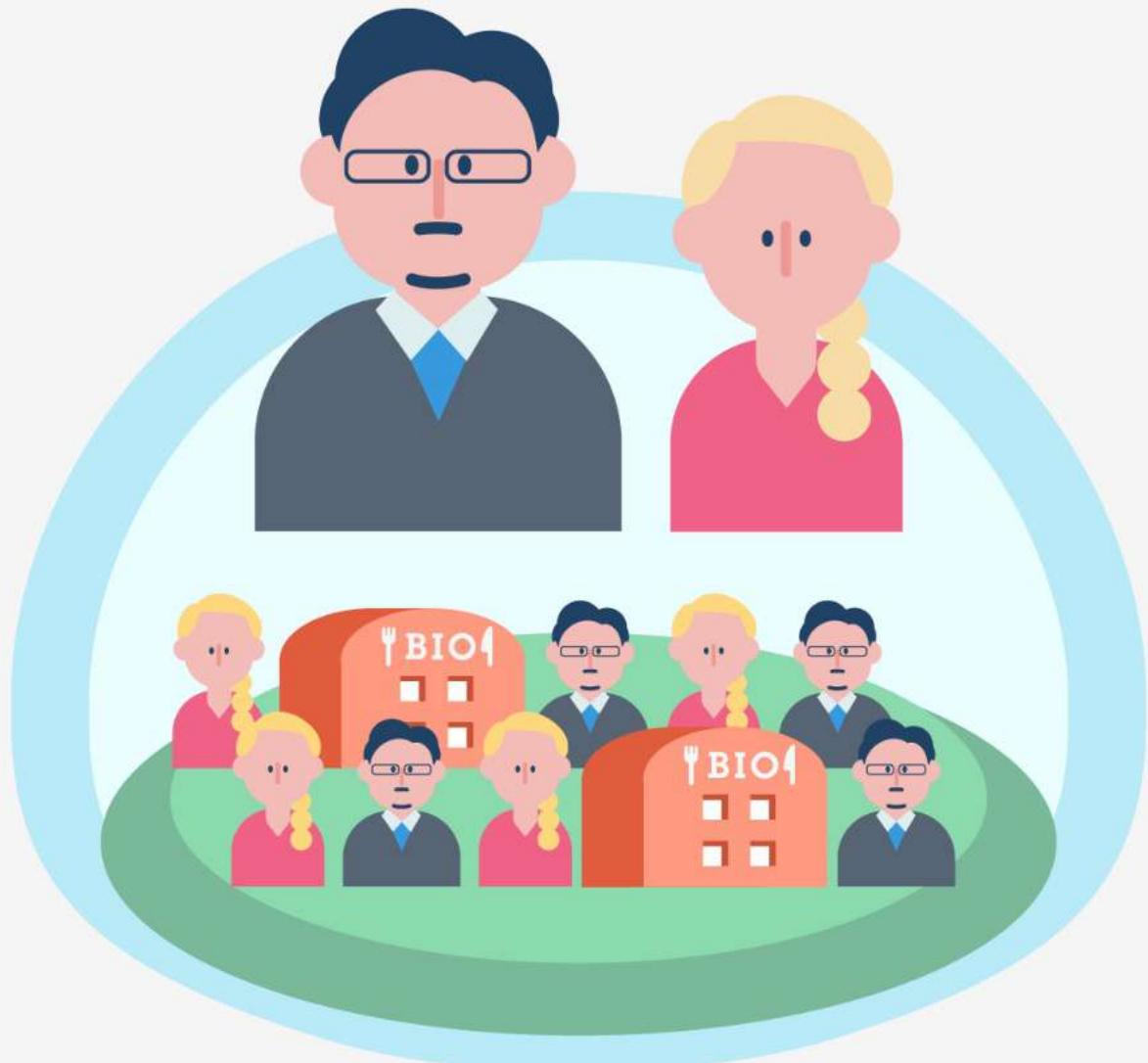
グレタさん100人で
つくるMini SE
環境負荷をとことんなくす!!



トランプさん100人で
つくるMini SE
感情が重視される
社会づくりを目指す!!



2040年、共通点が見つかってきました。



2050年、『人と地球』の平和の実現 = SE化

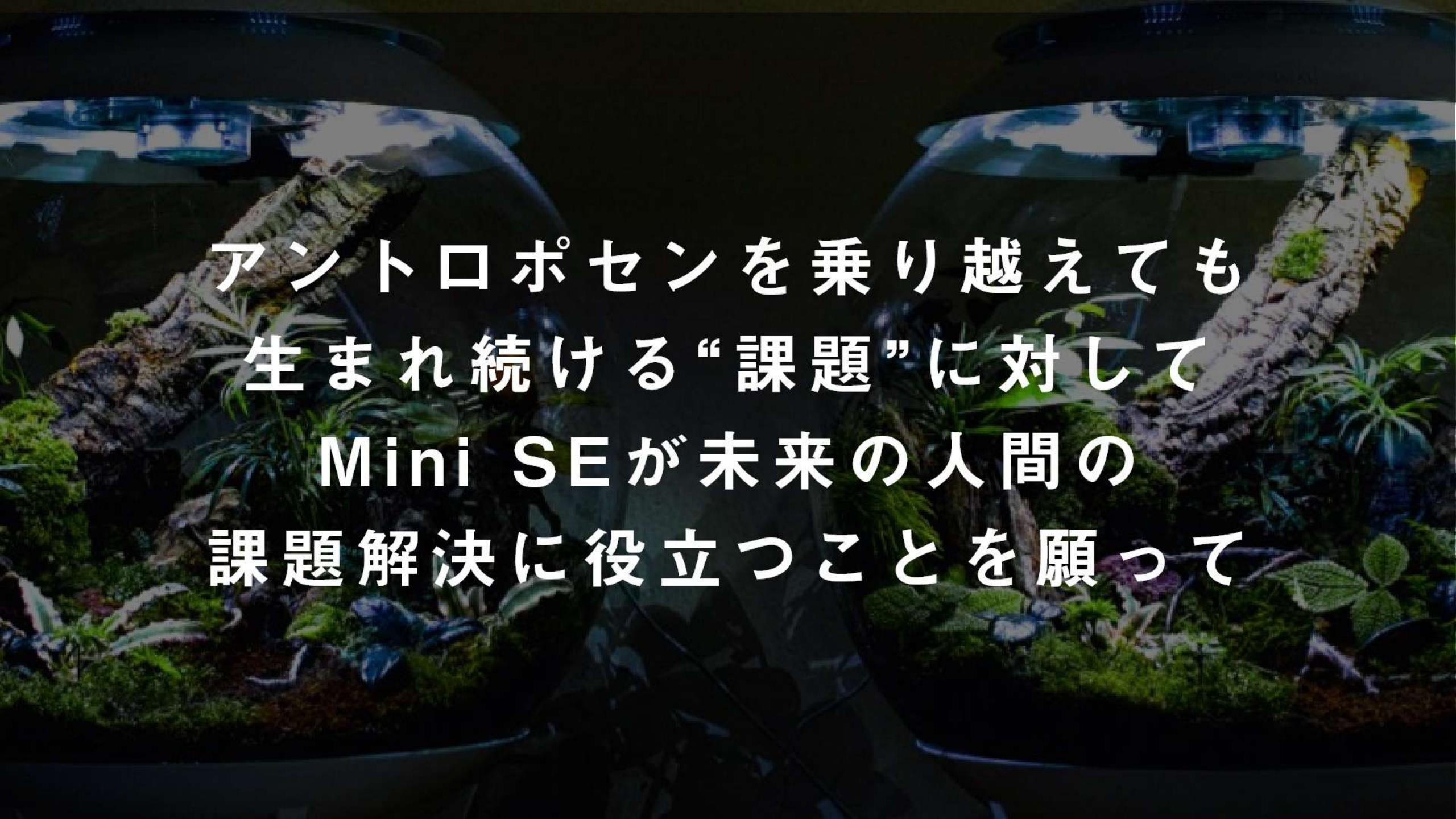


様々なMini SEのアイデア

- 統合宗教AI
- オンラインアバター
- Psyche Navigation Systemによる安寧・活力共存社会実現チーム
- 科学技術による「人類の調和」検討チーム
- ウルトラダイバーシティ社会実現チーム
- 「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チーム
- 生態-社会システム共生体化
- タイフーンショット
- Candy Factory
- 気象制御可能性検討チーム
- SACMOTs
- 地域海洋資源が支える新海洋国家=日本
- 蓄熱型エネルギー通貨
- 未来責任傾斜型合意形成
- 低コスト医療
- 電解パーソナルグリッドチーム

私たちは
「何 (What)」
をするかではなく
「どう (How)」
やるかということ
を考えています





アントロポセンを乗り越えても
生まれ続ける“課題”に対して
Mini SEが未来の人間の
課題解決に役立つことを願って